

ものづくり現場のマネージャーのための

※7月開催、8月開催の内容は同一です。ご都合の良い日程でご参加ください。

開発・設計のための『実践プロジェクトマネジメント』

本セミナーは『社内研修』としての開催も可能です。
詳しくは下記担当までお問い合わせください。

※開催月により津曲氏・酒井氏のどちらかが講師を担当します。内容は同一となります。

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日 時 ▶ 2018年7月3日(火) 9:30~12:30
日 時 ▶ 2018年8月7日(火) 9:30~12:30
会 場 ▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町) 会 場 ▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《ご参加頂きたい方》

ものづくり企業の開発設計部門、生産技術部門、情報システム部門の役員、マネージャー、リーダーなどの方
※プロジェクトマネジメントのご経験、知識がない方でもご受講いただけます。

講 師 (株)ロゴ 代表取締役社長 津曲公二氏 / 代表取締役副社長 酒井昌昭氏

【津曲氏】日産自動車(株)で、生産工場勤務をはじめ技術部門で設備投資計画などを担当、開発部門ではハードウェア新商品企画などの領域で多くのプロジェクトに参画。同社退職後、2年間研修企業に勤務。プラネット(株) 取締役副社長を務めながら、2003年5月に(株)ロゴを設立し、現在に至る。東京大学工学部卒。
【酒井氏】ソニー(株)で主に開発・設計業務に従事。民生用製品から業務用システム開発などの分野を経験。プロ用VTR開発や放送局用コンソール開発など数多くの商品化プロジェクトのほか、海外 R&D の支援活動を経験。愛媛大学工学部卒。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 23,760円(本体価格 22,000円) 一般 27,000円(本体価格 25,000円)

希望会場に「✓」をご記入下さい。

	7/3 開催	181061-0101		8/7 開催	181063-0101
ふりがな 会社名					
住 所					
TEL			FAX		
ふりがな ご氏名			所 属 役 職		
E-mail					

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領: 当会ホームページからお申し込み下さい。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F

・プログラム・

■開催にあたって■

開発・設計の現場は経営や顧客からの要請で日程的なプレッシャーにいつもさらされています。いったんスケジュールが遅れるとその対応に追われます。その対処策は、もぐら叩き(対症療法)になりがちです。目前の業務に追われるので、新しい技術の開発や今いるメンバーのレベルアップなども手つかずの状況です。このままでは現場のやる気は落ちるだけです。現場のさまざまな問題(症状)には、共通する根本的な原因があります。働き方改革のためには「仕事の進め方改革」!現場でおきている問題の根本にアプローチし、仕事の進め方を改革する正しい道すじを提案します。改革の強いニーズをお持ちの方々の参加をお待ちしています。

1. 現場でおきていること

- 顧客の要求を言われるままにしている
- 納期優先はよいが守れそうに無いことを提案している
- やり直しや手戻りが発生し大幅遅れになる
- 現場の実力値以上のことをやろうとしている
- そもそも「現場の実力値」がわからない

2. 納期を確約する

- (1) 2点見積もり法でスケジュールを立てる
- (2) 進ちょくをストレス無しで管理する
- (3) スケジュールマネジメントで納期を確約する

3. 見える化での的外れをなくす

- (1) 仕事とは成果物をつくりだすこと
- (2) 目的や思いをストーリーにする
- (3) サクセスマップ法により全体像を見える化する
- (4) サクセスマップを活用する

4. 現有メンバーで乗り切る

- (1) 責任追及型の進ちょく会議をやめる
- (2) 仕事に集中できる環境を整える
- (3) 風通しの良いチームにする
- (4) 働き方改革の目指すところ

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。